

兵高教組 調査情報 2011年7月2日 6号

兵庫県高等学校教職員組合調査部
TEL : 078-341-6745
FAX : 078-351-3185
URL : http://www.hyogo-kokyoso.com
mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

尼崎市議会 日の丸条例可決 学校は常時掲揚の対象外

6月26日、尼崎市議会本会議において、市内の公共施設への日の丸の常時掲揚を強制する「国旗の掲揚に関する条例」案が公明党から提出され、賛成23、反対17で可決されました。国旗掲揚を義務づける条例は県内初で、地方自治法に基づき7月17日までに施行されます。

総務消防委員会では否決

今年2月議会に、新政会より「尼崎市国旗の掲揚に関する条例」案が提案されました。この条例案では、市内212か所の市立の建物全てに毎日日の丸の揚げ降ろしを義務づけ、あわせて市の主催する行事・市議会議場にも日の丸掲揚を義務づけるものでした。市民との何の議論もなしに突然提案され、3月1日の本会議で採決がはかれるところでしたが、市民の抗議行動によって採決を阻まれ、総務消防委員会でも継続審議となっていました。

6月議会の総務消防委員会に、公明党から修正案が出されました。この修正案では、常時掲揚する施設から学校を除いていますが、入学式・卒業式で掲揚を義務づけるなど、本質的に原案と変わらないもので、多くの市民から「学習指導要領の範囲を超えて義務づけるもの」と批判の声があがっていました。

総務消防委員会は2月から計4回開かれました。共産党の早川委員は当初から厳しく反対し、他党派も「条文に拡大解釈の余地がある」などと慎重な姿勢を取りました。結局委員会では、新政会の原案・公明党の修正案ともに否決され

ました。

異例の本会議再提出

ところが公明党が、委員会で否決された修正案を再び本会議に提出しました。討論では、委員会で否決された議案が本会議に再提案されたことについて「議会運営をないがしろにしている」との指摘がありました。委員会で会派委員が反対した「新風グリーンクラブ」(7人)から4人が賛成し、賛成23、反対17で可決されました。

日の丸強制は、競争の教育への一里塚

日の丸・君が代の強制は、それを踏み絵に教職員への管理統制を強化し、差別と選別・競争の教育を推進してきた石原東京都知事・橋下大阪市長と軌を一にするものです。

報道によると、公明党議員は「学校施設での掲揚には根強い反対があり、落ち着くところに落ち着いたのでは。(学校では)正しい歴史認識を教育することで、一部の『日の丸アレルギー』を解消していきたい」と、また、新政会議員は「(教育現場での常時掲揚を義務づけた)我々の案からは後退したが、半歩前進とも言える」と

語ったということです。

物事の本質から目をそらす策動

新政会の条例案は、次のように目的を説明しています。

第1条 この条例は、国旗及び国歌に関する法律、教育基本法及び学習指導要領の趣旨を踏まえ、本市の施設、本市が主催する式典及び行事並びに尼崎市議会の議場における国旗の掲揚等について定めることにより、市民、とりわけ次代を担う子どもが伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する意識の高揚に資するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目的とする。

また、新政会は「会派リポート」に提案理由を次のように掲載しています。

今、日本が、日本人が自信を失い、社会全体が閉塞感に満ち満ちていると言えるのではないのでしょうか。

我々は、市議会議員という一政治家として、この尼崎から、元気と勇気をもたらす政策を押し進める責務があります。

そのような責任の下、とりわけ子供たち、そしてこれから生まれてくる将来世代のためにも、国旗を尊重する態度を育てるとともに、諸外国の国旗も同様に尊重する態度をはぐくむよう、この条例を提案するものであります。

日本社会を覆う閉塞感を打破するためには、国民生活を疲弊させた新自由主義構造改革をストップさせることこそが必要です。物事の本質から目をそらせる国旗掲揚強制の動きに十分注意していく必要があります。

みんなで21世紀の未来をひらく

教育のつどい

教育研究全国集会 2012 in 兵庫

教育のつどいプレ企画

トップをきって尼崎市内で開催!

堤未果 教育講演会(7/1)

「貧困大国アメリカ」から見える明日の教育



8月に兵庫で開催される教育のつどい(教育研究全国集会)のプレ企画が県内各地で企画されていますが、そのトップをきって、7月1日に尼崎市内で「堤未果 教育講演会」(阪神教育のつどい実行委員会主催)が開かれ、百数十人が参加しました。

アメリカで、教育・福祉・食・医療・保育・戦争、あらゆるものが商品化されている現状、多国籍企業である教育産業が日本

の教育を魅力ある市場として狙っており、オバマは人気回復のためにTPPで日本市場を差し出そうとしていることなど、息を飲む内容でした。堤さんは、「アメリカはやられたが、日本には制度がまだ残っている。絶対に売り渡してはいけない。政治から眼を離してはいけない」と呼びかけました。参加者は、日の丸強制や、隣のハシズムに負けずにたたかう決意を新たにしました。



文化行事・尼崎双星高校吹奏楽部の元気あふれる演奏